

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/6/24 ～ 2021/8/4)

1. 勉学の状況

チェンマイ大学では1学期に最低9単位とる必要があるため、現在3つのコースを履修しています。前期はThe world of social science, Introduction to political science, Religions and social changeの3コースです。様々な制約の元、やむなく取ったものもありますが、新しい分野を学ぶ良い機会だと考えていますし、予想を裏切り面白かったりもします。しかも大好きなタイアクセントの英語が毎回聞けるので幸せです。どの授業も週2回3時間で前期を通して行われ3単位です。The world of social scienceでは今のところ英語レポートの書き方に関する授業と、社会科学の初歩的な理論を学んでいます。Introduction to political scienceは文字通り政治学の入門のような授業で、学生が自国の政治システムを紹介し比較したり、政治体制に関するディベートを行ったりするため毎回難しさを感じています。Religions and social changeでは宗教を様々な観点から学ぶだけでなく、特定の宗教についてインタビューなどの調査を行い、論文を書くグループワークを行っています。

すべての授業に共通して言えるのは発言の機会が多いことです。積極的に発言することが成績評価の1つですし、名指しで質問されることもあります。また、日本人の学生が少ないので日本について尋ねられることが多いです。留学あるあるだとは思いますが、自国について知らないことが多いと痛感しました。知識不足に英語力の無さが相まってうまく答えられないことが多く毎回後悔していますが、これからもくじけず頑張ります！

課題は私が今まで千葉大で受けてきた授業よりも全体的に多めです(中には課題がほとんどない授業もあります)。基本的にレポートが課されますが、他にも2、3週間に1回ほど小テストがある授業もありますし、予習のために本や論文を読むことが求められます。私は千葉大の授業と並行して留学先の授業を受けていたため、課題のやりくりが大変でした。ただ、フィードバックが細かいうえに早いので、次の課題に活かすことができ非常にためになります。質問もメールやTeamsで気軽にできるので助かっています。

2. 生活の状況

日本からのオンライン留学ですし時差もほとんどないので生活リズムをあまり崩さずに過ごしています。困ったことはしいて言えば課題が多く十分な睡眠がとれなかったぐらいです。友達作りに関しては、グループワークが多いですし、私と同じように渡航できず自国から留学している学生もいるのでみんな同じような状況で思ったより難しくありません。コミュニケーションはFacebookのmessengerや授業中にダイレクトメッセージを送りあって行っています。

直前の渡航中止だったので留学準備についても少し書きます。私は5月の下旬に渡航を予定していました。予防接種は留学が決まってすぐから受けていましたが、本格的な準備は入学許可

書などの必要書類がなかなか届かなかったことと、必要書類が添付されたメールがなぜか迷惑メールに振り分けられ気づくのが遅れたため、約1か月で進めざるを得ませんでした。出国前のPCR検査の予約や入国後の隔離用のホテルの手配などコロナによってやるが増えましたし、出入国に関する書類、必要な手続きがコロコロ変わったのでこまめな確認が必要でした。留学中の住居の手配は、学校指定の寮がないため、学校を通して学外のアパートの契約をします。ただ、学校の職員の方があまりメールを確認されないようでやり取りに時間がかかりました。そのため、思い切ってアパートや寮に直接連絡してみるのもありだと思います。私の場合はアパートに直接連絡し詳細を確認した後、最終的にはLINEを介して学校とやり取りを行い、契約しました。学校の職員の方は非常に優しく、何か困ったことがあれば何でも質問できるので安心です（LINEだと比較的早く返信していただけます）。アパートはキッチンがない部屋が当たり前で驚きました。そのため、学校のおすすめのアパートのリストがありますがそれ以外にもいろいろ見て決めるのがいいと思います。私が気に入っていたアパートは迷っているうちに満室になってしまったので、入学届が来てすぐに契約できるよう事前にアパートに目星をつけておくといいかもしれません。

私の場合はいろいろな人に無理なお願いをして1か月でもなんとか準備が間に合いそうな感じでしたが、かなり焦りましたし、たくさんの人に迷惑をかけたと思います。早め早めの準備を心がけてください。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/8/5 ～ 2021/11/4)

1. 勉学の状況

前期は「Religions and Social Change」「World of Social Science」「Introduction to Political Science」の3授業を履修しました。全て週2回、1回1時間半の授業です。

宗教について学ぶ授業では、グループごとに1つの宗教について調べレポートを書くというプロジェクトを行いました。私のグループはバハイ教について調査し、実際にオンラインの活動を見学したりインタビューを行ったりしました。当初予定されていたフィールドワークはできませんでしたが、アポイントを取り調査を行い、それをもとに長いレポートを英語で書くのは初めてだったので達成感を抱くとともに非常に有意義な経験となりました。

社会科学の基本を学ぶ授業でもグループワークを行い、気候変動とそれに伴う社会問題に関する発表を行いました。発表に向けて英語の論文を読み文献レビューを書く課題や発表の練習など英語での研究を強く意識する機会となりました。先生も非常に面白い方で楽しく学ぶことができました。

政治学に関する授業は元々履修する予定ではなく、事前知識もほとんどない状態で受けました。授業内のディスカッションは日本の政治について考え直すきっかけになりましたし、タイだけでなくミャンマーや中国の政治の状況についても学ぶことができ、政治学について興味がわきました。授業中は名指しで意見が求められるため予習が必要でしたが、授業中に発言する良い練習になりました。

2. 生活の状況

日本でオンライン授業を受けているため、生活の変化は特にありません。チェンマイ大学の長期休暇と千葉大学のターム3がずれており、本来は休みであるターム3の間にもチェンマイ大学の授業を受けなければならなかったことが少し大変でした。しかし、そのおかげでチェンマイ大学の授業に集中することができました。

オンライン留学での友達作りに関してですが、私が履修した授業が少人数でグループワークが多かったこともあり、何人かの学生とは授業外でもコミュニケーションをとっています。特にタイ人の学生とは毎日日本語とタイ語の単語を送り合い、お互いの言語を教え合っています。さらに、毎週ビデオチャットを行い、英語の練習やタイの映画を一緒に見たりしました。コロナの状況が良くなりタイに行けたときのために旅行プランも立てています。

後期はタイのコロナの状況が落ち着いてきたこともあり、対面での授業が増えるようです。オンラインで受けられる授業の選択肢が減ってしまうのは若干悲しいですが、後期も授業をしっかり頑張っていきたいです。